

カーボンニュートラル推進薬品

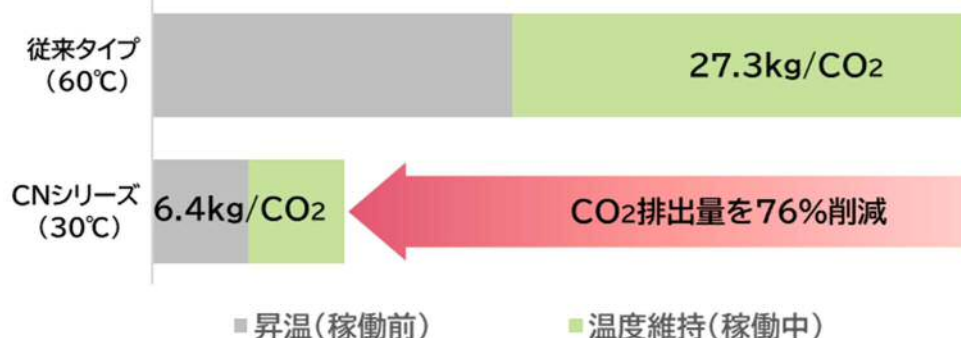
パクナ[®] CN-200
PAKUNA

取扱説明書

パクナCN-200は、従来のアルカリ脱脂剤の概念を打ち破り低温（30℃）で使用が可能です。
加温によるエネルギー使用量の削減に伴うコスト削減およびCO₂排出量削減に貢献できます。

■ 用 途

鉄鋼、銅及び真ちゅう用のアルカリ常温脱脂剤で、広範囲の汚れに対して安定した性能を低温でも発揮します。また、使用時や排水時の泡が少ない低発泡性です。

亜鉛めっき 1t 生産当たりCO₂排出量比較（年間）

エネルギーコスト比較（年間）



* 21日/月 10時間稼働を想定

※CO₂排出量参照データ：環境省・経済産業省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等のための排出原単位データベース（ver.3.1）」

味の素株式会社「食品関連材料CO₂排出係数データベース」を元に試算。2,840L ラックライン切替 実績データ

※エネルギーコストについては当社独自の試算です。お客様の製造工程や電力供給会社との契約内容などにより変わります。上記のコストダウンを保証するものではないことを予めご了承ください。

■ 特 長

- CO₂排出量を大幅に削減
 - ・ 加温によるエネルギー使用量を削減できるため、CO₂排出量を大幅に削減できます。
(当社比では約76%の削減効果が期待できます。)
- 重油、電力等の浴加温コストを大幅に節減
 - ・ 室温で抜群の脱脂力が得られ、かつ汚れ(被洗浄物付着油)の選択が少なく、大幅な加温コストの低減ができます。
- 作業性の向上
 - ・ 優れた洗浄性に伴い、作業時間の短縮、作業温度までの加温時間の短縮ができます。
 - ・
- 初段電解に対応可能
 - ・ 初段電解として使用することも可能です。
- 低発泡性
 - ・ 使用時や排水時の泡立ちが少なく、発泡による不具合や排水異常を抑えることができます。
 - ・ 脱脂力性能向上を目的とするエアブローを用いることができます。
- 安全及び作業環境の改善
 - ・ 高温タイプの脱脂のように蒸気の発生がないので、薬品補給作業等が安全に行えます。
 - ・ 室温で使用するため、液による火傷の心配はありません。
- その他
 - ・ 従来の高温タイプのアルカリ脱脂剤と設備的な変更することなく使用できます。
また、取扱い方法も従来と変わりません。
- 第二種特定化学候補物質であるノニルフェノールを使用しておりません。

■ 性状および荷姿

外 観	淡黄色～茶褐色 水溶性アルカリ粉末 (製品の色調の濃淡は性能に影響はありません。)
荷 姿	20 kg紙袋入り

■ 使用方法

濃 度	標準：50 g/L 使用可能範囲：30～60 g/L
温 度	標準：30℃ 使用可能範囲：25～55℃
時 間	付着汚れの状況により異なりますが、 ライン内外の作業条件に適合します。

上記使用条件にて建浴し、浴中に処理物を浸漬しますが、液攪拌・エアブロー・品物の揺動や、超音波等の物理的な力をさらに加えることにより性能はより一層向上します。
処理後はよく水洗を行ない次工程に移して下さい。

尚、上記使用条件は被処理物の汚れの程度に応じて適宜変更して下さい。
濃度・温度の条件幅は、個別に定められたものです。
実際には、両条件を組み合わせるため、その相関性を考慮する必要があります。
参考資料のパクナCN-200の推奨使用範囲をご確認ください。

■ 管理方法

〈濃度測定法〉

建浴液5mlを採取し、フェノールフタレイン指示薬を2～3滴加え、
0.1mol/L塩酸溶液にて滴定し、赤色が消失した点を終点とし、
その時の0.1mol/L塩酸溶液の滴定数(ml)をポイントと称します。

$$\text{パクナCN-200濃度 (g/L)} = 1.75 \times \text{滴定ポイント(ml)}$$

パクナCN-200の40 g/L液は、22.8ポイントを示します。

〈補給管理方法〉

処理を続けるに従って濃度が低下していきますので上記方法によって濃度測定を行い、
薬品を補給して予め設定された濃度になしてください。

なお補給時はできるだけ別槽(容器)で溶解後、補給して下さい。

長期間の使用にともなって浴中には各種の汚れが蓄積してきますので、適当な時期に
更新して下さい。

■ 取り扱い上の注意

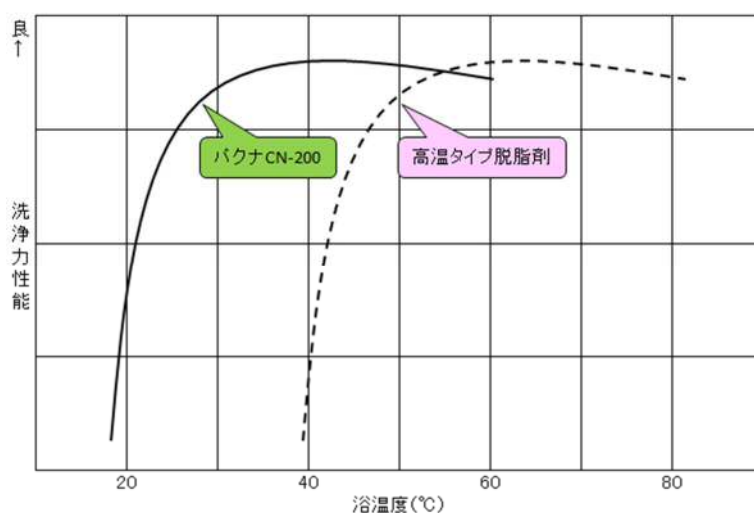
1. パクナCN-200は高アルカリ性です。建浴液及び薬品には、直接手を触れないように、ゴム手袋・保護眼鏡等の保護具を必ず着用して下さい。
2. 皮膚に付着した場合は直ちに多量の水で十分に洗浄し、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。また、過敏性の方は取り扱いに十分注意して下さい。
3. 安全データシート(SDS)をご確認下さい。
4. 薬品およびその容器は、各種法令(廃棄物処理法・水質汚濁防止法等)、地方条例等に従って適切に処分して下さい。

■ 薬品の保管

パクナCN-200は吸湿性を有していますので、薬品の保管はなるべく湿気の少ない冷暗所に密封保管して下さい。

■ 脱脂力性能について

パクナCN-200の浴温度変化にともなう洗浄力性能の目安として、当社従来品の高温タイプ脱脂剤の50～60℃での性能が、パクナCN-200では25～55℃の処理温度で得ることができます。



■ 免責事項

この取扱説明書に記載されている内容、並びに使用条件はあくまで目安です。
要求性能によっては使用条件が異なる場合がありますので、お客様にて使用条件及び管理条件を再設定いただく必要があります。

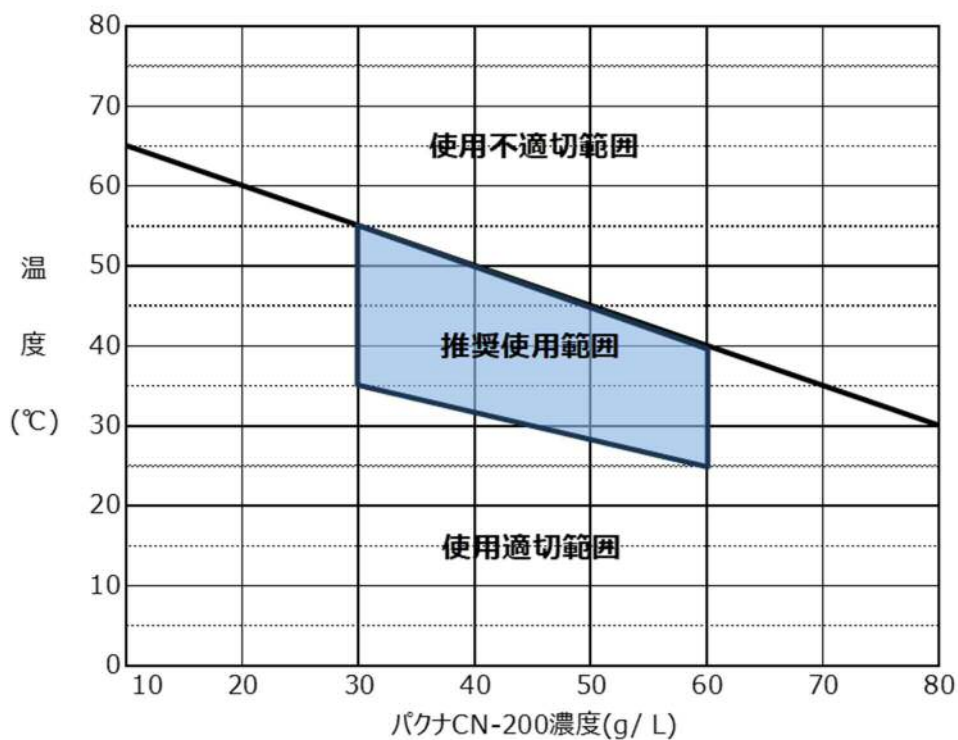
なお、ご使用頂くことにより生ずる損害(逸失利益、生産の中断等による損害を含む)に関し、当社は一切の責任を負いかねます。

2024/10/31改訂

(パクナ CN-200 参考資料)

パクナ CN-200 推奨使用範囲について

パクナ CN-200 は、使用条件(濃度、温度)により内容成分が塩析分離し、本来の溶液設計が崩れてしまうケースがありますので、推奨使用範囲を基準にご使用ください。



(備考)

ただし、本資料は新液時の特性を基に作成したもので、実際には使用とともに変動する場合があります。

以上